

県が先導したイベントで作られたキャラクターは全国和牛能力共進会（2012年）の「かさべこくん」や長崎しおかぜ総文祭（13年）の「美龍」がある。いずれも大会後の露出は極端に減少。県庁の一室のロッカーには縫いぐるみが寂しそうに横たわる。「その時々盛り上げには活用するが、後に生かす広報戦略が足りない。がんばくん、らんばちゃんも同じ運命なのか……」。県庁内ではこんな声も漏れる。



記事を読んだ当センター職員が県庁へ連絡、引き取りを申し出た

引退か 現役続行か

長崎がんばらんば国体。大会が近づくと、マスコミキャラクターは、がんばくん、らんばちゃんの大活躍を務めたばかりの大イベントのキャラクターにならな。大会は、引退が基本路線。しかし、がんばくん、らんばちゃんの認知度は高く、庁内には現役続行論も出ている。「現役続行論も出ている。」「県庁内では、引退の絶対的エース（県幹部）に第二の人生はあるのか。」

がんばくん らんばちゃん 国体後の去就



長崎がんばらんば国体まで50日前をPRするがんばくんとらんばちゃん。＝JR長崎駅かもめ広場（山下哲朗撮影）

国体開催地のキャラクター活用方法

国体開催年	開催地	キャラクター	国体後の活用
2010年	千葉	チーバくん	県マスコットキャラクターに就任
2011年	山口	ちよるる	山口観光宣伝部長に就任。その後、県PR本部長へ昇進
2012年	岐阜	ミナモ	県マスコットキャラクターに就任
2013年	東京	ゆりーと	スポーツ推進大使に就任

県が先導したイベントで作られたキャラクターは、年々の「美龍」がある。いずれも大会後の露出は極端に減少。県庁の一室のロッカーには縫いぐるみが寂しそうに横たわる。「その時々盛り上げに」

他県ではPR本部長就任も

は活用するが、後に生かす広報戦略が足りない。がんばくん、らんばちゃんも同じ運命なのか……。県庁内ではこんな声も漏れる。県鳥のオシドリをモチーフにしたがんばくんは10年、らんばちゃんは翌年に満を持して登場した。県の度は7割以上。ネクタイやピンバッジなど関連商品は373点に上る。2年前の全国規模のゆるキャラグランプリでは865体のうち243位に甘んじたものの、昨年は1580体で66位と躍進した。県担当者は「認知されてきた」と手応えを語る。

国体を開催した他県はどうしているのか。山口県11年の「ちよるる」は、終了後に県の観光宣伝部長に就任。現在は県PR本部長に昇進している。岐阜県12年の「ミナモ」も県のキャラクターになり、県民認知度は98％という。両県担当者は「国体のPRはオンラインになるので、県民への浸透度合いがほかとは違う。そのまま引退させるのはもったいないと判断した」と口を揃える。

子どもたちにも親しまれる存在になったがんばくん、らんばちゃん。定例会見にも付き添わせることが多く、中村法道知事は「たわいも持っている」と話し、知事室に飾った縫いぐるみをじっと見つめた。



ロッカーに寂しそうに横たわるかさべこくん と 美龍の縫いぐるみ。＝県庁

まろごとモーがる



2014年12月12日 長崎県庁より長崎県立こども医療福祉センターへ移送されました

○…昨年8月の本紙に、ロッカーにしまわれた全国和牛能力共進会の「かさべこくん」などの縫いぐるみの写真を掲載したところ、センターの岡野邦彦医師が「活用したい」と申し出た。広報課を通じ庁内から段ボール3箱分約30体が集まり、今や子どもたちの診察の合間の遊び相手として人気の的という。

○…県庁時代はほこりをかぶり、寂しそくに横たわっていた縫いぐるみたち。岡野医師は「心なしか今の方が生き生きしているように見える」と診断。

(豊竹健二)

石だたみ

県庁内のロッカーなどに眠っていた本県ゆかりのマスコットキャラクターの縫いぐるみが、諫早市のこども医療福祉センターに引き取られ、第二の人生を送っている写真!!

2015年5月23日 長崎新聞